

## ベストクラス選定理由書

作成者： 陣内和美、天野海輝、上山俊一、上月徳子、福本佳将、屋成祥子、川内充延

科目名称	特色あるカリキュラムづくりの理論と実際（昼間（①）クラス） (担当教員名： 關 浩和 )		
課 程	大学院（専門職）	開講時期	後期
授業形態	講義・演習	授業規模	31人以上
インタビュー対象教員名	關 浩和 (実施日時： 9月9日（木）11:00～11:45 ; 実施場所： Zoom による実施 )		
インタビュー対象受講者名	寺井 あい、大塚 のぞみ (実施日時： 9月9日（木）11:00～11:45 ; 実施場所： Zoom による実施 )		
選定理由	<p>本科目は、教育課程の変遷と意義を学ぶ授業であり、現在のカリキュラムマネジメント等にも触れている。受講者は現職教員のみで構成され、それぞれ異なるキャリアを持っている。6月に行われたベストクラス検討会にて、授業評価アンケートの評価値の高さ、受講者の「講義に熱意が感じられた」という内容の自由記述が多く見受けられたことから、本科目をベストクラス候補として挙げた。</p> <p><b>【受講者の自由記述より】</b> ※一部を抜粋</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・〇〇先生の授業はとても情熱的で示唆を受けることが多かったです。</li> <li>・授業の進め方や教師としての姿勢まで学んだように思います。</li> <li>・知的な学びがあり、今後教師としてどうあるべきか、考えさせられた講義でした。</li> </ul> <p><b>【担当教員・受講生へのインタビューより】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員側も、大学院に来ている現職院生たちも、学ぼうとするモチベーションが高い。</li> <li>・本来は前期に位置づけられているが、コロナ対応のために後期へ変更した。コロナ対策を行った上、なんとか全て対面授業で行った。（そこにも熱意を感じられた。）</li> <li>・その時代にどんな教育が行われていたのか、人々の文化や暮らしを、歌謡曲等の音楽を聴いて時代を感じながら学んでもらうことを心がけた。（音楽によって、歴史に親しみを感じられた。）</li> <li>・前半はカリキュラムの変遷について。従来なら、学習指導要領が改訂された以降をするのが普通だが、平安時代から始め、個人の興味に基づき「エンカウンター」することを投げかけている。</li> <li>・後半は、学習指導要領を4期に分けて行う。現在の学校で何をコアにしているか、グループ討議や全体共有から、カリキュラムマネジメントを学べるよう工夫している。常に学生のキャリアを大事にして、ごまかさずに授業を行っている。</li> <li>・「今」しか見ていなかったけど、歴史の変遷と共に、様々な時代の教育を学んだことで、新たな見方で学習指導要領を見られるようになった。</li> <li>・指導要領と日本の政治の変遷の関わりや、日本の教育が世界から影響を受けているということにエンカウンターし、実際に本を読んだり調べてみたりして、自分の視野が増えた。</li> <li>・難しい言葉を「届く言葉」にして講義してくれたので、理解しやすかった。</li> <li>・フィードバックに、個別の講義（Zoom で1時間半くらい）で答えてくれた。学生の学びたいという気持ちをととても大切にしてくれる。共に学び、共感していき、心理的な距離が縮まる。</li> </ul> <p><b>【総括】</b></p> <p>本科目は、教員の授業に対する熱意や教師としての姿勢の素晴らしさがあり、現職院生が自己の教師としての在り方にまで刺激を受ける授業であったということが判断されるため、ベストクラスとしてふさわしいと結論する。</p>		